

## 基本目標5

人と地球にやさしいまち

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	環境エネルギー対策事業①(環境保全関係)	担当課	生活環境課	記入日	平成28年5月23日
-----	----------------------	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	V	V 人と地球にやさしいまち	款	20	衛生費
基本施策	30	(30) 自然環境との共生	項	05	保健衛生費
主要施策	①	①環境保全意識の高揚と活動の推進	目	20	環境衛生費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30  事業 概要	○ 地球温暖化対策などの環境問題への対応が重要視されている中、エネルギー政策の転換が必要となっており、環境負荷の低減につながる再生可能エネルギーの導入促進及び環境基本計画の見直しを行うことで、今後の課題やそれを実現するための施策を検証する。	環境保全を図るため、環境負荷低減に取り組む意識づくりを官民が協働して取り組む事業である。	計画額	0	0	0	3,629	3,629	—
			当初予算額	0	0	0	3,329	3,329	
			決算額	0	0	0	3,161	3,161	
H27	○ さぬき市環境基本計画(H28-38)の進行管理 ○ 環境保全意識の高揚 ○ 環境保全や美化活動の推進	さぬき市環境基本計画(H28-38)を作成し公表した。	計画額	0	0	0	3,329	3,329	0.2
			当初予算額	0	0	0	3,329	3,329	
			決算額	0	0	0	3,161	3,161	
H28  具体的 的取 組	○ さぬき市環境基本計画(H28-38)の進行管理 ○ 環境保全意識の高揚 ○ 環境保全や美化活動の推進		計画額	0	0	0	100	100	
			当初予算額	0	0	0	0	0	
			決算額						
H29	○ さぬき市環境基本計画(H28-38)の進行管理 ○ 環境保全意識の高揚 ○ 環境保全や美化活動の推進		計画額	0	0	0	100	100	
			当初予算額						
			決算額						
H30	○ さぬき市環境基本計画(H28-38)の進行管理 ○ 環境保全意識の高揚 ○ 環境保全や美化活動の推進		計画額	0	0	0	100	100	
			当初予算額						
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	環境保全活動(地域清掃)の実施回数	ごみ袋支給申請書の申請件数をもって環境保全活動の実施回数	<input type="checkbox"/> 総合計画	回	計画値	120	計画値	120	計画値	120	計画値	120			
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	129	実績値		実績値		実績値				
成果指標	環境保全活動(地域清掃)参加者数	環境保全活動(地域清掃)に参加した者の延べ人数 (環境保全活動実施に伴うごみ袋支給申請書により、対象団体、参加人数を把握する)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	人	計画値	11,800	計画値	11,900	計画値	12,000	計画値	12,100			
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	12,330	実績値		実績値		実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	25 点	5 点	25 点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点					
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点		5 点					
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)								
	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 要改善 ● 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ● 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止								
理由	平成28年3月に公表した、さぬき市環境基本計画(H28-H38)に基づき、課題の克服に向けた取組を推進する。						環境保全を図るため、環境負荷低減に取り組む意識づくりを官民が協働して取り組む。								

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	塵芥処理事業①(清掃ボランティア活動関係)		担当課	生活環境課	記入日	平成28年5月23日
-----	-----------------------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	V	V 人と地球にやさしいまち	款	20	衛生費
基本施策	30	(30) 自然環境との共生	項	10	清掃費
主要施策	②	②環境美化運動と景観の保全	目	10	塵芥処理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27   H30  事業概要	ごみの適切な処理及び減量・再資源化推進により、快適な環境をつくる。	環境美化に関する市民の関心を高め、環境負荷低減や住みよいまちづくりの実現に向けて、市民の自主的な清掃活動を推進する事業である。	計画額	0	0	0	42,590	42,590	—
H27	○清掃ボランティア活動に対して、ごみ袋の配布及び収集ごみ回収等の支援を実施した。 ○環境美化、環境負荷低減に関するパンフレットの配布や広報を行った。	清掃ボランティア活動に対して、ごみ袋の配布及び収集ごみ回収の支援した。	当初予算額	0	0	0	20,445	20,445	0.2
H28  具体的取組	○清掃ボランティア活動に対して、ごみ袋の配布及び収集ごみ回収等の支援を実施する。 ○環境美化、環境負荷低減に関するパンフレットの配布や広報をする。		決算額	0	0	0	9,015	9,015	0.0
H29	○清掃ボランティア活動に対して、ごみ袋の配布及び収集ごみ回収等の支援を実施する。 ○環境美化、環境負荷低減に関するパンフレットの配布や広報をする。		計画額	0	0	0	10,800	10,800	
H30	○清掃ボランティア活動に対して、ごみ袋の配布及び収集ごみ回収等の支援を実施する。 ○環境美化、環境負荷低減に関するパンフレットの配布や広報をする。		当初予算額						
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	環境保全活動(地域清掃)の実施回数	ごみ袋支給申請書の申請件数をもって環境保全活動の実施回数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	回	計画値	120	計画値	120	計画値	120	計画値	120			
			<input type="checkbox"/> 実績値 <input type="checkbox"/> 実績値		129		実績値		実績値		実績値				
成果指標	環境保全活動(地域清掃)参加者数	環境保全活動(地域清掃)に参加した者の延べ人数 (環境保全活動実施に伴うごみ袋支給申請書により、対象団体、参加人数を把握する)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	人	計画値	11,800	計画値	11,900	計画値	12,000	計画値	12,100			
			<input type="checkbox"/> 実績値 <input type="checkbox"/> 実績値		12,330		実績値		実績値		実績値				
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	25 点	5 点	25 点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点					
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点		5 点					
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)								
	方向性 ○ 拡充 ◉ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ◉ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止								
理由	清掃ボランティア活動に対して、ごみ袋の配布及び収集ごみ回収等の支援を実施する。 環境美化、環境負荷低減に関するパンフレットの配布や広報を行った。						環境美化に関する市民の関心を高め、環境負荷低減や住みよいまちづくりの実現に向けて、市民の自主的な清掃活動を推進する。								

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	塵芥処理事業②(不法投棄予防関係)		担当課	生活環境課	記入日	平成28年5月23日
-----	-------------------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	V	V 人と地球にやさしいまち	款	20	衛生費
基本施策	30	(30) 自然環境との共生	項	10	清掃費
主要施策	③	③ごみの不法投棄の防止	目	10	塵芥処理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27   H30  事業概要	ごみの適切な処理及び減量・再資源化推進により、快適な環境をつくる。	不法投棄を予防し、住みよいまちづくりを実現する事業である。	計画額	0	0	0	652	652	—
			当初予算額	0	0	0	310	310	
			決算額	0	0	0	151	151	
H27  具体的 的取組	○不法投棄禁止等の看板の配布 ○さぬき警察署に対して不法投棄の通報 ○適正なごみ収集の啓発 ○不法投棄多発場所の監視カメラ等の注意喚起	○警察署と共に不法投棄した者を特定し、正しい知識を指導した。 ○不法投棄を防止するための注意喚起を行った。	計画額	0	0	0	152	152	0.2
			当初予算額	0	0	0	152	152	
			決算額	0	0	0	151	151	
H28  具 体 的 的取組	○不法投棄禁止等の看板の配布 ○さぬき警察署に対して不法投棄の通報 ○適正なごみ収集の啓発 ○不法投棄多発場所の監視カメラ等の注意喚起		計画額	0	0	0	160	160	
			当初予算額	0	0	0	158	158	
			決算額						
H29  具 体 的 的取組	○不法投棄禁止等の看板の配布 ○さぬき警察署に対して不法投棄の通報 ○適正なごみ収集の啓発 ○不法投棄多発場所の監視カメラ等の注意喚起		計画額	0	0	0	170	170	
			当初予算額						
			決算額						
H30  具 体 的 的取組	○不法投棄禁止等の看板の配布 ○さぬき警察署に対して不法投棄の通報 ○適正なごみ収集の啓発 ○不法投棄多発場所の監視カメラ等の注意喚起		計画額	0	0	0	170	170	
			当初予算額						
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	不法投棄通報等による現地調査件数	市民等からの不法投棄に関する通報を受け、現地調査を実施した件数(実数)	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	40	計画値	40	計画値	40	計画値	40		
					実績値	45	実績値		実績値		実績値			
成果指標	不法投棄の認知件数	不法投棄の認知件数は、市民等からの不法投棄に関する通報を受け、現地調査を実施した件数(実数)とする。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	40	計画値	40	計画値	40	計画値	40		
					実績値	45	実績値		実績値		実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	25 点	5 点	25 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点		5 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)							
	○ 拡充    ● 現状維持    ○ 要改善    ○ 抜本的見直し    ○ 統合・廃止						○ 拡充    ● 現状維持    ○ 要改善    ○ 抜本的見直し    ○ 統合・廃止							
理由	警察と共に不法投棄をした者を特定し、正しい知識を指導し、再発防止を図る。 看板の設置等の不法投棄を防止するための注意喚起を行う。						不法投棄を予防し、住みよいまちづくりを実現する。							

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	環境エネルギー対策事業②(自然エネルギー関係)		担当課	生活環境課	記入日	平成28年5月23日
-----	-------------------------	--	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	V	V 人と地球にやさしいまち	款	20	衛生費
基本施策	30	(30) 自然環境との共生	項	05	保健衛生費
主要施策	④	④地球温暖化対策と公害等の防止	目	20	環境衛生費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 事業概要	地球温暖化対策などの環境問題への対応が重要視されている中、エネルギー政策の転換が必要となっており、環境負荷の低減につながる再生可能エネルギーの導入促進及び環境基本計画の見直しを行うことで、今後の課題やそれを実現するための施策を検証する。	地球温暖化対策などの環境問題への対応が重要視されている中、エネルギー政策の転換が必要となっており、環境負荷の低減につながる再生可能エネルギーの導入促進をする事業である。	計画額	0	0	40,000	80	40,080	—
			当初予算額	0	0	20,000	135	20,135	
			決算額	0	0	6,547	432	6,979	
H27	○かがわみどりのカーテン育成講習会 ○住宅太陽光発電システム設置費補助金	○住宅用太陽光発電システムを設置する市民に対し、さぬき市共通商品券を交付した。 ○「かがわ緑のカーテン育成講習会」を実施した。	計画額	0	0	10,000	80	10,080	0.2
			当初予算額	0	0	10,000	80	10,080	
			決算額	0	0	6,547	432	6,979	
H28 具体的取組	○かがわみどりのカーテン育成講習会 ○住宅太陽光発電システム設置費補助金		計画額	0	0	10,000	0	10,000	
			当初予算額	0	0	10,000	55	10,055	
			決算額						
H29	○かがわみどりのカーテン育成講習会 ○住宅太陽光発電システム設置費補助金		計画額	0	0	10,000	0	10,000	
			当初予算額						
			決算額						
H30	○かがわみどりのカーテン育成講習会 ○住宅太陽光発電システム設置費補助金		計画額	0	0	10,000	0	10,000	
			当初予算額						
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30					
活動指標	住宅用太陽発電システム設置促進事業補助金受付件数	住宅用太陽発電システム設置促進事業補助金受付件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	75	計画値	75	計画値	75	計画値	75				
					実績値	72	実績値		実績値		実績値					
成果指標	市内公共施設のエネルギー使用量	公共施設(本庁、支所、市立保育所、温泉施設、火葬場)におけるエネルギー使用量(灯油、軽油、A重油、ガス、電気の使用量)の合計を原油使用量に換算し、省エネ状況を把握する	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	原油換算キロリットル	計画値		計画値		計画値		計画値					
					実績値	1,250	実績値		実績値		実績値					
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)							
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計						
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	25 点	5 点	25 点					
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点						
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点		5 点						
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点						
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)									
	○ 拡充    ● 現状維持    ○ 要改善    ○ 抜本的見直し    ○ 統合・廃止						○ 拡充    ● 現状維持    ○ 要改善    ○ 抜本的見直し    ○ 統合・廃止									
理由	住宅用太陽光発電システムを設置する市民に対し、さぬき市共通商品券を交付する。「かがわ縁のかーん育成講習会」を実施する。						地球温暖化対策などの環境問題への対応が重要視されている中、エネルギー政策の転換が必要となっており、環境負荷の低減につながる再生可能エネルギーの導入促進をする。									

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	公害対策事業	担当課	生活環境課	記入日	平成28年5月23日
-----	--------	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	V	V人と地球にやさしいまち	款	20	衛生費
基本施策	30	(30)自然環境との共生	項	05	保健衛生費
主要施策	④	④地球温暖化対策と公害等の防止	目	25	公害対策費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 ～ H30 要 概 要	公共用水域の水質状況を把握することにより、水質汚濁を未然に防止し、市民の健康保護及び生活環境の保全を図る。また、自動車騒音の状況及び対策の効果等を把握し、自動車騒音公害防止の基礎資料となるよう道路を走行する自動車の運行に伴い発生する騒音に対して、地域が曝される年間を通じて平均的な状況について継続的に把握する。	公共水域の水質を監視するとともに、公害に関する市民からの相談に対応する事業である。	計画額	0	0	0	6,416	6,416	—
			当初予算額	0	0	0	3,064	3,064	
			決算額	0	0	0	1,108	1,108	
H27	○水質検査 ○水質公害検査(生活環境項目・健康項目) ○騒音常時監視 ○相談・現地調査 ○香川県大気汚染緊急時対策要綱に基づく措置	河川14箇所、海域9箇所、ため池3箇所、水路2箇所の計28箇所の水質測定を行った。 市民からの相談に対応し、安心安全な生活環境をめざした。	計画額	0	0	0	1,588	1,588	0.2
			当初予算額	0	0	0	1,588	1,588	
			決算額	0	0	0	1,108	1,108	
H28  具 体 的 取 組	○水質検査 ○水質公害検査(生活環境項目・健康項目) ○騒音常時監視 ○相談・現地調査 ○香川県大気汚染緊急時対策要綱に基づく措置		計画額	0	0	0	1,588	1,588	
			当初予算額	0	0	0	1,476	1,476	
			決算額						
H29	○水質検査 ○水質公害検査(生活環境項目・健康項目) ○騒音常時監視 ○相談・現地調査 ○香川県大気汚染緊急時対策要綱に基づく措置		計画額	0	0	0	1,620	1,620	
			当初予算額						
			決算額						
H30	○水質検査 ○水質公害検査(生活環境項目・健康項目) ○騒音常時監視 ○相談・現地調査 ○香川県大気汚染緊急時対策要綱に基づく措置		計画額	0	0	0	1,620	1,620	
			当初予算額						
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	異常数値の検出による対応件数	水質検査、騒音常時監視、香川県大気汚染緊急時対策要綱に基づく措置等で監視している数値に人体に影響がある基準値を超える異常な数値が検出され、現地調査を行う等の対応をした件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0		
					実績値	0	実績値		実績値		実績値			
成果指標	水質異常等の認知件数	水質検査、騒音常時監視、香川県大気汚染緊急時対策要綱に基づく措置等で監視している数値に人体に影響がある基準値を超える異常な数値が検出され、現地調査を行う等の対応をした件数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値	0	計画値	0	計画値	0	計画値	0		
					実績値	0	実績値		実績値		実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)					
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計				
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	25 点	5 点	25 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点		5 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点				
							／25点	／25点		／25点				
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)							
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
理由	相談や通報に基づき、大気汚染、水質汚濁、土壤汚染、騒音、悪臭等の調査を行い、必要な対応を行う。						健康及び生活環境への被害の原因となる大気汚染、水質汚濁、土壤汚染、騒音、悪臭等の調査を行うとともに対策を講じる。 野焼きを行わないよう指導するなど市民の理解と協力を広く呼びかけていく。							

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	飼い犬・野犬等対策事業	担当課	生活環境課	記入日	平成28年5月23日
-----	-------------	-----	-------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	V	V 人と地球にやさしいまち	款	20	衛生費
基本施策	30	(30) 自然環境との共生	項	05	保健衛生費
主要施策	⑤	⑤ペットの適切な飼養に向けた対策の推進	目	20	環境衛生費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 — H30 事業概要	狂犬病の発生を予防することにより、公衆衛生の向上及び公共交通の増進を図る。また、犬の不必要な繁殖を抑制し、周囲に対する危害、迷惑の防止を図るとともに動物の愛護及び管理についての意識の高揚を図る。	良好なコミュニティを形成するため、適切な動物の愛護及び管理を進める事業である。	計画額	0	0	29,951	112	30,063	—
			当初予算額	0	0	14,705	86	14,791	
			決算額	0	0	6,837	228	7,065	
H27	○適正な飼養に係る啓発(看板・ちらし) ○狂犬病予防注射の接種 ○犬の避妊去勢手術補助金を交付 ○野犬等の捕獲支援	狂犬病予防注射の接種業務を香川県獣医師会に委託して実施するとともに、飼い犬の避妊・去勢手術費の一部を補助した。	計画額	0	0	7,633	112	7,745	0.5
			当初予算額	0	0	7,633	112	7,745	
			決算額	0	0	6,837	228	7,065	
H28 具体的 的取組	○適正な飼養に係る啓発(看板・ちらし) ○狂犬病予防注射の接種 ○犬の避妊去勢手術補助金を交付 ○野犬等の捕獲支援		計画額	0	0	7,228	0	7,228	
			当初予算額	0	0	7,072	-26	7,046	
			決算額						
H29	○適正な飼養に係る啓発(看板・ちらし) ○狂犬病予防注射の接種 ○犬の避妊去勢手術補助金を交付 ○野犬等の捕獲支援		計画額	0	0	7,545	0	7,545	
			当初予算額						
			決算額						
H30	○適正な飼養に係る啓発(看板・ちらし) ○狂犬病予防注射の接種 ○犬の避妊去勢手術補助金を交付 ○野犬等の捕獲支援		計画額	0	0	7,545	0	7,545	
			当初予算額						
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
活動指標	狂犬病予防注射を接種した犬の数	狂犬病予防注射を接種した犬の数	<input type="checkbox"/> 総合計画	頭	計画値	2,490	計画値	2,460	計画値	2,430	計画値	2,400	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	2,279	実績値		実績値		実績値		
成果指標	犬登録数	犬登録数	<input type="checkbox"/> 総合計画	頭	計画値	4,150	計画値	4,100	計画値	4,050	計画値	4,000	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	3,885	実績値		実績値		実績値		
成果指標	狂犬病予防注射接種率	狂犬病予防注射を接種した犬の数／犬登録数 (小数点以下切り上げ)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	%	計画値	60	計画値	60	計画値	60	計画値	60	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	59	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1～5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
								評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	25 点	5 点		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5 点		5 点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点		5 点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点		
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)					
	○ 拡充    ● 現状維持    ○ 要改善    ○ 抜本的見直し    ○ 統合・廃止							○ 拡充    ● 現状維持    ○ 要改善    ○ 抜本的見直し    ○ 統合・廃止					
今後の方向性	動物を飼養する世帯が増えていることから、動物の飼養方法の正しい知識を普及推進する。 狂犬病予防注射の接種業務を香川県獣医師会に委託して実施するとともに、飼い犬の避妊・去勢手術費の一部を補助する。							動物を愛護する気風を招来し、生命尊重、友愛及び平和の情操の涵養に資するとともに、動物と共生する住みよいまちづくりをめざす。 また、動物に起因する感染症の疾病について正しい知識や予防、動物の飼養方法の正しい知識を普及推進する。					
	理由												

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	塵芥処理事業③(リサイクル関係)		担当課	生活環境課		記入日	平成28年5月23日
-----	------------------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	V	V 人と地球にやさしいまち	款	20	衛生費
基本施策	31	(31) 資源循環型社会の構築	項	10	清掃費
主要施策	①	①ごみの減量化と3R運動の推進	目	10	塵芥処理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27 事業概要 H30	ごみの適切な処理及び減量・再資源化推進により、快適な環境をつくる。 分別収集の徹底による減量化を図るため、「正しい出し方」チラシの作成により、啓発を行う。収集業務は、民間業者に委託し、業務の効率化を図り、処理施設を運営している東部清掃施設組合に負担金を負担する。	ごみの適切な処理及び減量・再資源化を行う事業である。	計画額	0	599,100	342,801	2,810,618	3,752,519	—
			当初予算額	0	316,700	176,382	1,360,205	1,853,287	
			決算額	0	144,100	82,512	691,890	918,502	
H27	○ごみの正しい出し方のちらしを作成し配布。○一般廃棄物の収集を委託する。○資源ごみ・ペットボトル・廃食用油・小型家電製品部品の再資源化○香川県東部清掃施設組合運営経費支援○生ごみ処理機補助金	ごみの正しい出し方のちらしを作成、配布した。 香川県東部清掃施設組合の一般廃棄物溶融処理に係る費用を負担した。	計画額	0	0	87,801	687,595	775,396	1.1
			当初予算額	0	0	87,801	687,595	775,396	
			決算額	0	144,100	82,512	691,890	918,502	
H28 具体的取組	○ごみの正しい出し方のちらしを作成し配布。○一般廃棄物の収集を委託する。○資源ごみ・ペットボトル・廃食用油・小型家電製品部品の再資源化○香川県東部清掃施設組合運営経費支援○生ごみ処理機補助金		計画額	0	377,100	85,000	710,923	1,173,023	
			当初予算額	0	316,700	88,581	672,610	1,077,891	
			決算額						
H29	○ごみの正しい出し方のちらしを作成し配布。○一般廃棄物の収集を委託する。○資源ごみ・ペットボトル・廃食用油・小型家電製品部品の再資源化○香川県東部清掃施設組合運営経費支援○生ごみ処理機補助金		計画額	0	222,000	85,000	714,100	1,021,100	
			当初予算額						
			決算額						
H30	○ごみの正しい出し方のちらしを作成し配布。○一般廃棄物の収集を委託する。○資源ごみ・ペットボトル・廃食用油・小型家電製品部品の再資源化○香川県東部清掃施設組合運営経費支援○生ごみ処理機補助金		計画額	0	0	85,000	698,000	783,000	
			当初予算額						
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30				
活動指標	市民一人当たりのごみの排出量	収集業者が収集した可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみの総量／市人口	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	キログラム	計画値	316	計画値	314	計画値	313	計画値	312			
					実績値	313	実績値		実績値		実績値				
成果指標	ごみの資源化(リサイクル)率	資源化量／ごみの総排出量 (資源ごみの分別収集など資源化に向けた目標値を設定している)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値		計画値		計画値		計画値				
					実績値		実績値		実績値		実績値				
評価	チェック項目(1～5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)						
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計					
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	25 点	5 点	25 点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点					
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点		5 点					
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点					
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)								
	方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止						<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							
理由		ごみ処理施設に持ち込まれる処理量は減少する傾向にあり、家庭から排出されるごみを適正に処理する。						循環型社会の形成に向けてごみの減量化(リデュース)、再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)の考え方を普及啓発し、家庭から排出されるごみを適正に処理する。							

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	し尿処理事業		担当課	生活環境課		記入日	平成28年5月23日
-----	--------	--	-----	-------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	V	V 人と地球にやさしいまち	款	20	衛生費
基本施策	31	(31) 資源循環型社会の構築	項	10	清掃費
主要施策	②	②し尿収集・処理体制の充実	目	15	し尿処理費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27   H30  事業概要	し尿及び浄化槽汚泥を適切に処理し、快適な環境をつくる。	し尿及び浄化槽汚泥を適切に処理し、快適な環境をつくる事業である。	計画額	0	0	157,621	223,045	380,666	—
			当初予算額	0	0	82,221	106,720	188,941	
			決算額	0	0	36,920	55,141	92,061	
H27  具体的 的取組	○し尿及び浄化槽汚泥の収集を委託した。 ○大川広域行政組合の大川広域志度クリーンセンターの運営を支援した。	し尿及び浄化槽汚泥の収集を委託した。 大川広域行政組合の大川広域志度クリーンセンターの運営を負担した。	計画額	0	0	41,321	54,045	95,366	0.6
			当初予算額	0	0	41,321	54,045	95,366	
			決算額	0	0	36,920	55,141	92,061	
H28  具 体 的 的取組	○し尿及び浄化槽汚泥の収集を委託する。 ○大川広域行政組合の大川広域志度クリーンセンターの運営を支援する。		計画額	0	0	39,700	54,900	94,600	
			当初予算額	0	0	40,900	52,675	93,575	
			決算額						
H29  具 体 的 的取組	○し尿及び浄化槽汚泥の収集を委託する。 ○大川広域行政組合の大川広域志度クリーンセンターの運営を支援する。		計画額	0	0	39,100	56,600	95,700	
			当初予算額						
			決算額						
H30  具 体 的 的取組	○し尿及び浄化槽汚泥の収集を委託する。 ○大川広域行政組合の大川広域志度クリーンセンターの運営を支援する。		計画額	0	0	37,500	57,500	95,000	
			当初予算額						
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
活動指標	し尿処理の収集量	委託業者より報告のあった収集量(平成21年度から25年度までの収集量の減少率と今後の人口予測による減少率を合算して収集量の減少率を算出。生活排水処理構想より目標値を設定。)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	キロリットル	計画値 実績値	1,617 1,602	計画値 実績値	1,561	計画値 実績値	1,506	計画値 実績値	1,453	
成果指標	浄化槽汚泥の収集量	委託業者より報告のあった収集量(生活排水処理構想より目標値を設定。浄化槽利用者人口が大幅に増えることは想定できないため、収集量については人口減少率に応じて減少する見込み。)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	キロリットル	計画値 実績値	5,076 4,960	計画値 実績値	5,020	計画値 実績値	4,964	計画値 実績値	4,908	
評価	水質異常等の認知件数	し尿処理により水質異常等を防いでいることから、水質検査の数値に人体に影響がある基準値を超える異常な数値が検出され、現地調査を行う等の対応をした件数とする。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	件	計画値 実績値	0 0	計画値 実績値	0	計画値 実績値	0	計画値 実績値	0	
			<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略		計画値 実績値		計画値 実績値		計画値 実績値		計画値 実績値		
	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	25 点	5 点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点		
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点		5 点		
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点		5 点		
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)					
	○ 拡充    ● 現状維持    ○ 要改善    ○ 抜本的見直し    ○ 統合・廃止							○ 拡充    ● 現状維持    ○ 要改善    ○ 抜本的見直し    ○ 統合・廃止					
理由	し尿及び浄化槽汚泥の収集の適切な処理を行うとともに、大川広域行政組合の大川広域志度クリーンセンターの運営を支援する。							清潔で明るい生活環境と、健康で文化的な生活を営むうえで、廃棄物の適正な収集と処理が必要である。高度処理を行い、環境の保全を行う。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	簡易水道事業特別会計	担当課	水道課	記入日	
-----	------------	-----	-----	-----	--

総合計画上の位置付け			会計	40	簡易水道事業特別会計
基本目標	V	V 人と地球にやさしいまち	款		
基本施策	32	(32) 上下水道の維持・整備	項		
主要施策	①	①上水道事業の健全経営	目		

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27   H30  <small>事業概要</small>	長尾地区南部の給水区域への上水道の安定供給	安全でおいしい水の安定供給を行う。	計画額	0	36,000	55,374	115,226	206,600	—
			当初予算額	0	36,000	28,756	93,144	157,900	
			決算額	0	0	15,168	36,456	51,624	
H27	給水戸数 300戸 年間総給水量 59,000m³	安全でおいしい水の安定供給を行つた。	計画額	0	36,000	14,374	27,126	77,500	0.4
			当初予算額	0	36,000	14,374	27,126	77,500	
			決算額	0	0	15,168	36,456	51,624	
H28  <small>具体的取組</small>	給水戸数 300戸 年間総給水量 58,500m³		計画額	0	0	14,000	28,000	42,000	
			当初予算額	0	0	14,382	66,018	80,400	
			決算額						
H29	給水戸数 300戸 年間総給水量 58,000m³	※上水道事業との事業統合により廃止(予定)。	計画額	0	0	13,800	29,500	43,300	
			当初予算額						
			決算額						
H30	給水戸数 300戸 年間総給水量 57,500m³	※上水道事業との事業統合により廃止(予定)。	計画額	0	0	13,200	30,600	43,800	
			当初予算額						
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
活動指標	給水戸数	検針メーター数	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	戸	計画値	300	計画値	300	計画値	-	計画値	-	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	302	実績値		実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値		
成果指標	有収率	総配水量に対する有収水量の割合	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	%	計画値	83	計画値	83	計画値	-	計画値	-	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	83	実績値		実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	3 点	3 点	17 点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	4 点	3 点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点	5 点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	1 点	1 点			
								5 点	／25点	5 点	／25点		
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)					
	方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input checked="" type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input checked="" type="radio"/> 統合・廃止				
		平成29年度に上水道事業に統合する。							平成28年度に簡易水道事業を上水道事業に統合する手続きとして、水道事業経営変更認可(届出)申請を行い、県知事より認可を受ける。				
理由													

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	上水道事業会計(健全経営関係)		担当課	水道課	記入日
-----	-----------------	--	-----	-----	-----

総合計画上の位置付け			会計	0	水道事業会計
基本目標	V	V人と地球にやさしいまち	款		
基本施策	32	(32)上下水道の維持・整備	項		
主要施策	①	①上水道事業の健全経営	目		

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27   H30  事業概要	給水区域への上水道の安定供給 (長尾地区南部(簡易水道)を除く)	老朽化した配水管を改良し、安全でおいしい水の安定供給を行う。	計画額	0	0	4,596,190	224,379	4,820,569	—
			当初予算額	0	0	2,337,712	172,527	2,510,239	
			決算額	0	0	1,189,452	123,772	1,313,224	
H27	給水戸数 21,130戸 年間総給水量 6,194千m³	老朽化した配水管を改良し、安全でおいしい水の安定供給を行った。	計画額	0	0	1,186,190	50,379	1,236,569	1.7
			当初予算額	0	0	1,186,190	50,379	1,236,569	
			決算額	0	0	1,189,452	123,772	1,313,224	
H28  具体的 的取組	給水戸数 21,150戸 年間総給水量 6,070千m³		計画額	0	0	1,153,000	17,000	1,170,000	
			当初予算額	0	0	1,151,522	122,148	1,273,670	
			決算額						
H29	給水戸数 21,170戸 年間総給水量 5,950千m³		計画額	0	0	1,144,000	58,000	1,202,000	
			当初予算額						
			決算額						
H30	給水戸数 21,190戸 年間総給水量 5,830千m³		計画額	0	0	1,113,000	99,000	1,212,000	
			当初予算額						
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
活動指標	配水管改良	老朽配水管等の改良工事延長	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	m	計画値	1,500	計画値	1,500	計画値	1,500	計画値	1,500	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	1,803	実績値		実績値		実績値		
成果指標	有収率	総配水量に対する有収水量の割合	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	%	計画値		計画値		計画値		計画値		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	89	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	4 点	21 点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5 点	5 点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	3 点	4 点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点	5 点			
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない							3 点	/25点	3 点	/25点		
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)					
	○ 拡充    ● 現状維持    ○ 要改善    ○ 抜本的見直し    ○ 統合・廃止							○ 拡充    ● 現状維持    ○ 要改善    ○ 抜本的見直し    ○ 統合・廃止					
理由	今後も水の安定供給のため、継続して老朽配水管等の更新改良を行っていくため。							今後、水需要の減少に伴い給水収益も減少傾向が続くと予想されている中で、単純に施設を更新することは財政収支を悪化させることにつながるため、計画的な更新を行う。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	上水道事業会計(上水道施設整備関係)				担当課	水道課		記入日				
総合計画上の位置付け					会計	0	水道事業会計					
基本目標	V	V人と地球にやさしいまち				款						
基本施策	32	(32) 上下水道の維持・整備				項						
主要施策	(2)	(2)計画的な上水道施設の整備				目						
年度	事業内容		事業目的 / 改善内容		事業費(千円)				担当職員数(人)			
					財源内訳					事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
国県支払金	地方債	その他	一般財源									
H27   H30  <small>事業概要</small>	給水区域への上水道の安定供給のため、香川県水道広域化に向けた協議や耐震管の整備等を進める。 ※事業費再掲		H30年4月の統合に向け、県内各市町と協議を進めるとともに、将来にわたり安全で良質な水道水を安定的に供給する。	計画額	0	0	4,596,190	224,379	4,820,569	—	—	
H27	給水区域への上水道の安定供給のため、香川県水道広域化に向けた協議や耐震管の整備等を進めた。			当初予算額	0	0	2,337,712	172,527	2,510,239	2.2	0.0	
H28  <small>具体的取組</small>	給水区域への上水道の安定供給のため、香川県水道広域化に向けた協議や耐震管の整備等を進める。			決算額	0	0	1,189,452	123,772	1,313,224			
H29	給水区域への上水道の安定供給のため、香川県水道広域化に向けた協議や耐震管の整備等を進める。			計画額	0	0	1,153,000	17,000	1,170,000			
H30	給水区域への上水道の安定供給のため、香川県水道広域化に向けた協議や耐震管の整備等を進める。			当初予算額	0	0	1,151,522	122,148	1,273,670			
				決算額								
				計画額	0	0	1,144,000	58,000	1,202,000			
				当初予算額								
				決算額								
				計画額	0	0	1,113,000	99,000	1,212,000			
				当初予算額								
				決算額								

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
活動指標	配水管改良	老朽配水管等の改良工事延長(健全経営関係と活動指標を共用)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	km	計画値	1	計画値	1	計画値	1	計画値	1	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	1	実績値		実績値		実績値		
成果指標	有収率	総配水量に対する有収水量の割合(健全経営関係と成果指標を共用)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合計画	%	計画値	89	計画値	89	計画値	89	計画値	89	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	89	実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)						一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか						評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	4 点	22 点	5 点	23 点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)						1 → 2 → 3 → 4 → 5 なっていない ⇒ なっている	5 点		5 点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点		5 点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか						1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点		5 点			
	1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない						3 点	/25点	3 点	/25点			
今後の方向性	一次評価(担当者)						二次評価(所属長)						
	○ 拡充 ◉ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						○ 拡充 ◉ 現状維持 ○ 要改善 ○ 抜本的見直し ○ 統合・廃止						
理由	水道広域化に向けて協議を疎々と進めていく。						広域化の協議において、施設の更新時期や規模を踏まえた適切な更新基準を設定し、計画的な更新を行う。						

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	公共下水道事業特別会計①(建設改良関係)		担当課	下水道課		記入日	平成28年5月23日
-----	----------------------	--	-----	------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	25	公共下水道事業特別会計		
基本目標	V	V 人と地球にやさしいまち	款				
基本施策	32	(32) 上下水道の維持・整備	項				
主要施策	③	③下水道事業の推進と健全経営	目				

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)		
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)	
			国県支払金	地方債	その他	一般財源				
H27 事業概要	健康で快適な生活環境の確保、公共用水域の水質保全及び頻発する都市型浸水を防除するため、下水道未整備地域の解消と下水道施設の老朽化に伴う改築更新等による生活環境の向上に努める。	健康で快適な生活環境の確保、公共用水域の水質保全及び頻発する都市型浸水を防除するため、下水道未整備地域の解消と下水道施設の老朽化に伴う改築更新等による生活環境の向上に努める。	計画額	955,750	1,266,400	27,301	8,833	2,258,284	—	—
			当初予算額	540,500	647,900	11,646	4,494	1,204,540		
			決算額	145,718	182,400	6,086	1,252	335,456		
H27	・公共下水道認可区域内における管渠敷設事業 汚水管 L=891m ・終末処理場の老朽化に伴う改築更新事業(長寿命化) 津田西部浄化センター ・雨水ポンプ場の老朽化に伴う改築更新事業(長寿命化) 流田、鵜部、新開 雨水ポンプ場	認可区域の中で、重要性、緊急性を考慮し効率的な下水道施設の整備に努めた。	計画額	268,750	324,500	6,201	2,833	602,284	3.6	0.0
			当初予算額	268,750	324,500	6,201	2,833	602,284		
			決算額	145,718	182,400	6,086	1,252	335,456		
H28 具体的取組	・公共下水道認可区域内における管渠敷設事業 汚水管 L=1,620m(予定) ・終末処理場の老朽化に伴う改築更新事業(長寿命化) 津田東部浄化センター(予定) ・雨水ポンプ場の老朽化に伴う改築更新事業(長寿命化) 流田、鵜部、塩屋、新開 雨水ポンプ場(予定)		計画額	229,000	313,500	7,500	2,000	552,000		
			当初予算額	271,750	323,400	5,445	1,661	602,256		
			決算額							
H29	・公共下水道認可区域内における管渠敷設事業 ・終末処理場の老朽化に伴う改築更新事業(長寿命化) ・雨水ポンプ場の老朽化に伴う改築更新事業(長寿命化)		計画額	229,000	313,700	7,300	2,000	552,000		
			当初予算額							
			決算額							
H30	・公共下水道認可区域内における管渠敷設事業 ・終末処理場の老朽化に伴う改築更新事業(長寿命化) ・雨水ポンプ場の老朽化に伴う改築更新事業(長寿命化)		計画額	229,000	314,700	6,300	2,000	552,000		
			当初予算額							
			決算額							

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30		
活動指標	管渠敷設距離	汚水管等の敷設距離	<input type="checkbox"/> 総合計画	m	計画値	1,000	計画値	1,620	計画値	1,000	計画値	1,000	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	891	実績値		実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値		
成果指標	普及率	総人口に対して下水道を利用できる区域(処理区域)の人口の割合で、下水道の整備状況を示す。	<input type="checkbox"/> 総合計画	%	計画値	48	計画値	48	計画値	49	計画値	49	
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値	47	実績値		実績値		実績値		
			<input type="checkbox"/> 総合計画		計画値		計画値		計画値		計画値		
			<input type="checkbox"/> 総合戦略		実績値		実績値		実績値		実績値		
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)			
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計		
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	5 点	25 点		
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点	5 点			
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点	5 点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点	/25点	5 点		
											/25点		
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)					
	○ 拡充    ● 現状維持    ○ 要改善    ○ 抜本的見直し    ○ 統合・廃止							○ 拡充    ● 現状維持    ○ 要改善    ○ 抜本的見直し    ○ 統合・廃止					
理由	健康で快適な生活環境の確保、公共用水域の水質保全及び頻発する都市型浸水を防除するため、下水道未整備地域の解消と下水道施設の改良等による生活環境の向上に努める。また、施設の老朽化が進み、改築費用が増大することが予想されるが、引き続き国・県の補助制度を活用しながら効率的な整備を図る。							健康で快適な生活環境の確保、公共用水域の水質保全及び頻発する都市型浸水を防除するため、下水道未整備地域の解消と下水道施設の改良等による生活環境の向上に努める。また、施設の老朽化が進み、改築費用が増大することが予想されるが、引き続き国・県の補助制度を活用しながら効率的な整備を図る。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	公共下水道事業特別会計②(施設の維持管理関係)		担当課	下水道課	記入日	平成28年5月23日
-----	-------------------------	--	-----	------	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	25	公共下水道事業特別会計		
基本目標	V	V 人と地球にやさしいまち	款				
基本施策	32	(32) 上下水道の維持・整備	項				
主要施策	④	④下水道施設の適切な維持管理	目				

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27   H30  事業概要	健康で快適な生活環境の確保、公共用水域の水質保全及び頻発する都市型浸水を防除するため、整備済み区域における水洗化の促進、水質改善のための適切な汚水処理場及び雨水ポンプ場の維持管理と水質監視を行う。	健康で快適な生活環境の確保、公共用水域の水質保全及び頻発する都市型浸水を防除するため、整備済み区域における水洗化の促進、水質改善のための適切な汚水処理場及び雨水ポンプ場の維持管理を行う。	計画額	0	0	1,347,586	5,345,130	6,692,716	—
H27	・雨水ポンプ場(11箇所)及び付帯施設等の維持管理 ・終末処理場(6箇所)及び付帯施設等の維持管理	各施設の重要性、緊急性に鑑みて維持管理を行い、安定的かつ継続的な経営に努めた。	当初予算額	0	5,000	652,948	2,607,512	3,265,460	4.0
H28  具体的 的取組	・雨水ポンプ場(11箇所)及び付帯施設等の維持管理 ・終末処理場(6箇所)及び付帯施設等の維持管理		決算額	0	0	330,740	1,250,355	1,581,095	2.0
H29	・雨水ポンプ場(11箇所)及び付帯施設等の維持管理 ・終末処理場(6箇所)及び付帯施設等の維持管理		計画額	0	0	337,514	1,334,486	1,672,000	
H30	・雨水ポンプ場(11箇所)及び付帯施設等の維持管理 ・終末処理場(6箇所)及び付帯施設等の維持管理		当初予算額	0	5,000	328,902	1,304,842	1,638,744	
			決算額						
			計画額	0	0	341,583	1,349,417	1,691,000	
			当初予算額						
			決算額						
			計画額	0	0	344,443	1,358,557	1,703,000	
			当初予算額						
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	修繕費	事業費のうち修繕費の額。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	49,000	計画値	50,000	計画値	55,000	計画値	60,000		
					実績値	47,791	実績値		実績値		実績値			
成果指標	水洗化率	処理区域内において、下水道へ接続している人口の割合で、排水施設への接続状況を示す。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値		計画値		計画値		計画値			
					実績値		実績値		実績値		実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	5 点	25 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点	5 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点	5 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点	/25点				
										5 点	/25点			
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)						
	方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
理由		下水道は市民生活に無くてはならないライフラインであり、年中無休、昼夜を問わず維持管理を行わなければならない必要不可欠な事業である。 快適で衛生的な市民生活が送れるよう各施設において日々安定した運転の継続が求められており、これまでのところ大きな問題なく安心確実に運転されている。 今後は施設の老朽化が進み、維持管理費用が増大することが予想されるが、限られた財源の中で使用料・負担金収入の増大を図るとともに、積極的な経費削減に努めなければならない。							下水道は市民生活に無くてはならないライフラインであり、年中無休、昼夜を問わず維持管理を行わなければならない必要不可欠な事業である。 快適で衛生的な市民生活が送れるよう各施設において日々安定した運転の継続が求められており、これまでのところ大きな問題なく安心確実に運転されている。 今後は施設の老朽化が進み、維持管理費用が増大することが予想されるが、限られた財源の中で使用料・負担金収入の増大を図るとともに、積極的な経費削減に努めなければならない。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	農業集落排水事業特別会計		担当課	下水道課		記入日	平成28年5月23日
-----	--------------	--	-----	------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	30	農業集落排水事業特別会計		
基本目標	V	V 人と地球にやさしいまち	款				
基本施策	32	(32) 上下水道の維持・整備	項				
主要施策	④	④下水道施設の適切な維持管理	目				

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27   H30  事業概要	整備済み区域における水洗化の促進と施設の適正な維持管理を行い、公共水域の水質保全に努める。	整備済み区域における水洗化の促進と施設の適正な維持管理を行い、公共水域の水質保全に努める。	計画額	0	0	128,854	507,146	636,000	—
			当初予算額	0	0	60,996	243,004	304,000	
			決算額	0	0	31,136	116,455	147,591	
H27	農業集落排水施設及び付帯施設等の維持管理	各施設の重要性、緊急性に鑑みて維持管理を行い、安定的かつ継続的な経営に努めた。	計画額	0	0	31,498	121,502	153,000	1.1
			当初予算額	0	0	31,498	121,502	153,000	
			決算額	0	0	31,136	116,455	147,591	
H28  具体的取組	農業集落排水施設及び付帯施設等の維持管理		計画額	0	0	32,176	129,824	162,000	
			当初予算額	0	0	29,498	121,502	151,000	
			決算額						
H29	農業集落排水施設及び付帯施設等の維持管理		計画額	0	0	32,407	128,593	161,000	
			当初予算額						
			決算額						
H30	農業集落排水施設及び付帯施設等の維持管理		計画額	0	0	32,773	127,227	160,000	
			当初予算額						
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	修繕費	事業費の内修繕費の額。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	7,000	計画値	7,000	計画値	9,000	計画値	11,000		
					実績値	6,899	実績値		実績値		実績値			
成果指標	水洗化率	処理区域内において、農業集落排水施設へ接続している人口の割合で、排水施設への接続状況を示す。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値		計画値		計画値		計画値			
					実績値		実績値		実績値		実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	5 点	25 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点	5 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点	5 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点	/25点				
										5 点	/25点			
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)						
	方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
理由		本事業は下水道事業と同様に、市民生活に無くてはならないライフラインであり、年中無休、昼夜を問わず維持管理を行わなければならない必要不可欠な事業である。 快適で衛生的な市民生活が送れるよう各施設において日々安定した運転の継続が求められており、これまでのところ大きな問題なく安心確実に運転されている。 今後は施設の老朽化が進み、維持管理費用が増大することが予想されるが、限られた財源の中で使用料・負担金収入の増大を図るとともに、積極的な経費削減に努めなければならない。							本事業は下水道事業と同様に、市民生活に無くてはならないライフラインであり、年中無休、昼夜を問わず維持管理を行わなければならない必要不可欠な事業である。 快適で衛生的な市民生活が送れるよう各施設において日々安定した運転の継続が求められており、これまでのところ大きな問題なく安心確実に運転されている。 今後は施設の老朽化が進み、維持管理費用が増大することが予想されるが、限られた財源の中で使用料・負担金収入の増大を図るとともに、積極的な経費削減に努めなければならない。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	漁業集落排水事業特別会計		担当課	下水道課		記入日	平成28年5月23日
-----	--------------	--	-----	------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	35	漁業集落排水事業特別会計		
基本目標	V	V 人と地球にやさしいまち	款				
基本施策	32	(32) 上下水道の維持・整備	項				
主要施策	④	④下水道施設の適切な維持管理	目				

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27   H30  事業概要	整備済み区域における水洗化の促進と施設の適正な維持管理を行い、公共水域の水質保全に努める。	整備済み区域における水洗化の促進と施設の適正な維持管理を行い、公共水域の水質保全に努める。	計画額	0	0	29,131	145,569	174,700	—
			当初予算額	0	0	14,796	70,704	85,500	
			決算額	0	0	7,119	33,923	41,042	
H27  具体的取組	漁業集落排水施設及び付帯施設等の維持管理	各施設の重要性、緊急性に鑑みて維持管理を行い、安定的かつ継続的な経営に努めた。	計画額	0	0	7,398	35,302	42,700	0.9
			当初予算額	0	0	7,398	35,302	42,700	
			決算額	0	0	7,119	33,923	41,042	
H28  具体的取組	漁業集落排水施設及び付帯施設等の維持管理		計画額	0	0	7,292	36,708	44,000	
			当初予算額	0	0	7,398	35,402	42,800	
			決算額						
H29  具体的取組	漁業集落排水施設及び付帯施設等の維持管理		計画額	0	0	7,211	36,789	44,000	
			当初予算額						
			決算額						
H30  具体的取組	漁業集落排水施設及び付帯施設等の維持管理		計画額	0	0	7,230	36,770	44,000	
			当初予算額						
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	修繕費	事業費の内修繕費の額。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	千円	計画値	3,000	計画値	3,000	計画値	4,000	計画値	5,000		
					実績値	2,704	実績値		実績値		実績値			
成果指標	水洗化率	処理区域内において、漁業集落排水施設へ接続している人口の割合で、排水施設への接続状況を示す。	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	%	計画値		計画値		計画値		計画値			
					実績値		実績値		実績値		実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	5 点	25 点			
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点	5 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点	5 点				
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点	/25点				
										5 点	/25点			
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)						
	方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止							<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 要改善 <input type="radio"/> 抜本的見直し <input type="radio"/> 統合・廃止					
理由		本事業は下水道事業と同様に、市民生活に無くてはならないライフラインであり、年中無休、昼夜を問わず維持管理を行わなければならない必要不可欠な事業である。 快適で衛生的な市民生活が送れるよう各施設において日々安定した運転の継続が求められており、これまでのところ大きな問題なく安心確実に運転されている。 今後は施設の老朽化が進み、維持管理費用が増大することが予想されるが、限られた財源の中で使用料・負担金収入の増大を図るとともに、積極的な経費削減に努めなければならない。							本事業は下水道事業と同様に、市民生活に無くてはならないライフラインであり、年中無休、昼夜を問わず維持管理を行わなければならない必要不可欠な事業である。 快適で衛生的な市民生活が送れるよう各施設において日々安定した運転の継続が求められており、これまでのところ大きな問題なく安心確実に運転されている。 今後は施設の老朽化が進み、維持管理費用が増大することが予想されるが、限られた財源の中で使用料・負担金収入の増大を図るとともに、積極的な経費削減に努めなければならない。					

# 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

事業名	浄化槽設置整備事業		担当課	下水道課		記入日	平成28年5月23日
-----	-----------	--	-----	------	--	-----	------------

総合計画上の位置付け			会計	01	一般会計
基本目標	V	V 人と地球にやさしいまち	款	20	衛生費
基本施策	32	(32) 上下水道の維持・整備	項	05	保健衛生費
主要施策	⑤	⑤合併処理浄化槽の設置促進と適切な利用の啓発	目	30	合併処理浄化槽費

年度	事業内容	事業目的 / 改善内容	事業費(千円)					担当職員数(人)	
			財源内訳				事業費計	正規 (再任用含む)	非正規 (臨時・嘱託等)
			国県支払金	地方債	その他	一般財源			
H27   H30  事業概要	生活排水による公共用水域の水質汚濁防止を図ることを目的とし、浄化槽設置整備に係る経費に対する補助金を交付する。	生活排水による公共用水域の水質汚濁防止を図ることを目的とし、浄化槽設置整備に係る経費に対する補助金を交付する。	計画額	71,146	0	84,455	408	156,009	—
			当初予算額	31,186	0	41,929	204	73,319	
			決算額	14,089	0	18,867	27	32,983	
H27  具体的取組	□甲種地域(さぬき市公共下水道事業認可区域等以外の区域) ・合併処理浄化槽設置基數 56基 □乙種地域(さぬき市公共下水道事業認可区域等) ・合併処理浄化槽設置基數 12基	国・県の補助制度を活用して合併処理浄化槽設置者に対して補助金を交付した。	計画額	17,388	0	22,595	102	40,085	1.0
			当初予算額	17,388	0	22,595	102	40,085	
			決算額	14,089	0	18,867	27	32,983	
H28  具体的取組	□甲種地域(さぬき市公共下水道事業認可区域等以外の区域) ・合併処理浄化槽設置基數 56基(予定) □乙種地域(さぬき市公共下水道事業認可区域等) ・合併処理浄化槽設置基數 11基(予定)		計画額	18,288	0	21,093	102	39,483	
			当初予算額	13,798	0	19,334	102	33,234	
			決算額						
H29  具体的取組	□甲種地域(さぬき市公共下水道事業認可区域等以外の区域) □乙種地域(さぬき市公共下水道事業認可区域等)		計画額	18,288	0	21,093	102	39,483	
			当初予算額						
			決算額						
H30  具体的取組	□甲種地域(さぬき市公共下水道事業認可区域等以外の区域) □乙種地域(さぬき市公共下水道事業認可区域等)		計画額	17,182	0	19,674	102	36,958	
			当初予算額						
			決算額						

	指標名	指標の説明	総合計画・総合戦略指標	単位	H27		H28		H29		H30			
活動指標	申請申請基数	合併処理浄化槽補助申請基数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	基	計画値	81	計画値	67	計画値	70	計画値	65		
					実績値	68	実績値		実績値		実績値			
成果指標	設置基数	合併処理浄化槽補助設置基数	<input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 総合戦略	基	計画値		計画値		計画値		計画値			
					実績値		実績値		実績値		実績値			
評価	チェック項目(1~5点で評価)							一次評価(担当者)		二次評価(所属長)				
	1. 総合計画の基本目標達成のために必要な事業ですか							評価点	評価点合計	評価点	評価点合計			
	2. 市民満足の向上が期待できる取組内容となっていますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要性低い ⇒ 必要性高い	5 点	5 点				
	3. 事業の優先度は高いと思いますか(既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる)							1 → 2 → 3 → 4 → 5 優先度低い ⇒ 優先度高い	5 点	5 点				
	4. 他の事業との統合や事務手続を簡素化によって事業効率を高める余地はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 余地がある ⇒ 余地はない	5 点	5 点	25 点			
	5. 施策効果を高めるために実施主体の変更(民間委託等)を検討する必要はありますか							1 → 2 → 3 → 4 → 5 必要がある ⇒ 必要はない	5 点	5 点	/25点			
											/25点			
今後の方向性	一次評価(担当者)							二次評価(所属長)						
	○ 拡充    ● 現状維持    ○ 要改善    ○ 抜本的見直し    ○ 統合・廃止							○ 拡充    ● 現状維持    ○ 要改善    ○ 抜本的見直し    ○ 統合・廃止						
理由	下水道未認可区域等において、公共用水域の水質汚濁を防止するために必要な事業であり、浄化槽の設置工事期間や設置費用を鑑みて、設置者本人の負担を軽減させ、浄化槽の設置促進を図るために有効な手段である。 引き続き国・県の補助制度を活用しながら効率的な運用を図る。							下水道未認可区域等において、公共用水域の水質汚濁を防止するために必要な事業であり、浄化槽の設置工事期間や設置費用を鑑みて、設置者本人の負担を軽減させ、浄化槽の設置促進を図るために有効な手段である。 引き続き国・県の補助制度を活用しながら効率的な運用を図る。						